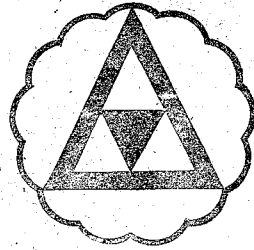


昭和十二年一月二十三日 第三種郵便物認可
 昭和十九年四月二十五日 印刷 納本
 昭和十九年五月一日 毎月一回一日發行



道路の改良

第二十六卷
 第四、五號

社団法人 道路改良會

目次

卷頭言

時局と科學技術

H

T

生(三)

佛印の道路、自動車

H

T

生(三)

道路と飛行機

H

T

生(三)

近代的土地整理

伯林

コンラッド・マイエル教授(二)

最近内務省に於ける路政關係行政處分例

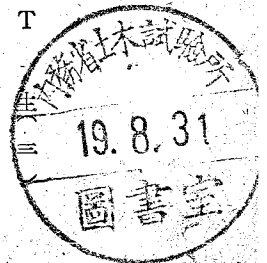
(三)

雜報

(四)

編輯室内外

(六)



言 頭 卷

現今我日本國民の上に課せられたる最大の課題は何よりも先づ大東亞戦争及び支那事變の武力戰否總力戰に完全打ち勝つといふことである。

國民の總てが必らず勝たうといふ覺悟と決意とに燃え、其の行動が勝つ爲めに結集せられて初めて米英の大敵を完全に屈伏せしめ得るのである、米英を屈伏し完全に打ち勝てば道が開ける。勝たずしては何を云ふとも無益である、一切は空念佛に過ぎない。負けたら最後今までの努力が水泡に歸する計りでなく戦争開始當初より帝國は遙かに後退せざるを得ない。故に一億國民は生活の上に於ける不自由特殊の階級を除けば殆んど缺乏に近き總ゆる艱苦を忍んで偉大なる戦果を収めなければならぬ、實に國民は斷じて艱苦に耐へ此の難局を突破するの確信をもつておるのである。

斯る確信を有する所以のものは尊嚴なる國體の下、二千六百有餘年間鍊磨し來れる忠誠心が機に臨み變に應じて發揮せられたるに外ならない。此の忠誠心は完全無缺に統一せられたる比類なき國體に融和し、日本民族を中核とし成立する指導下に異民族異國家に臨むのである。素より最高理念として八紘爲宇の精神を以て對應すべきは論を俟たざる處であるが大東亞經綸を樹つる爲めには土木科學は勿論總ての方面に於ての科學を強化し引き上げて技術と運營と經營に依り米英をして追隨を許さざる程度にまで進歩せねばならぬ。蓋し勝敗の鍵、指導の鍵は金のみならず、物のみならず一死以て君國に報ずるの精神力に存するのである。

吾曹は斯く信ずる。然るに憂ふべきは戦時を振り廻はして私利を先きにし、權力を濫用し、非常時に便乘して必要以上のものを強要し、言葉遣ひを荒くし、高慢横暴な態度を現はし、毫も反省して一億國民の上に思を致さざるものあるなきを保し難いことである。戦時なればこそ凡ての國民が相互に相互の感情を尊重し、親切心をもち、相手方の便宜を計り、謙虛の心持を以て相援け、個人も會社員も官公吏も盡すべきを盡してこそ日本國民としての面目を維持し、此の戦争に打ち勝つの途であると思惟する。(洗民)